

1 . 業務提携 Project とその目的

業務提携Projectとその目的

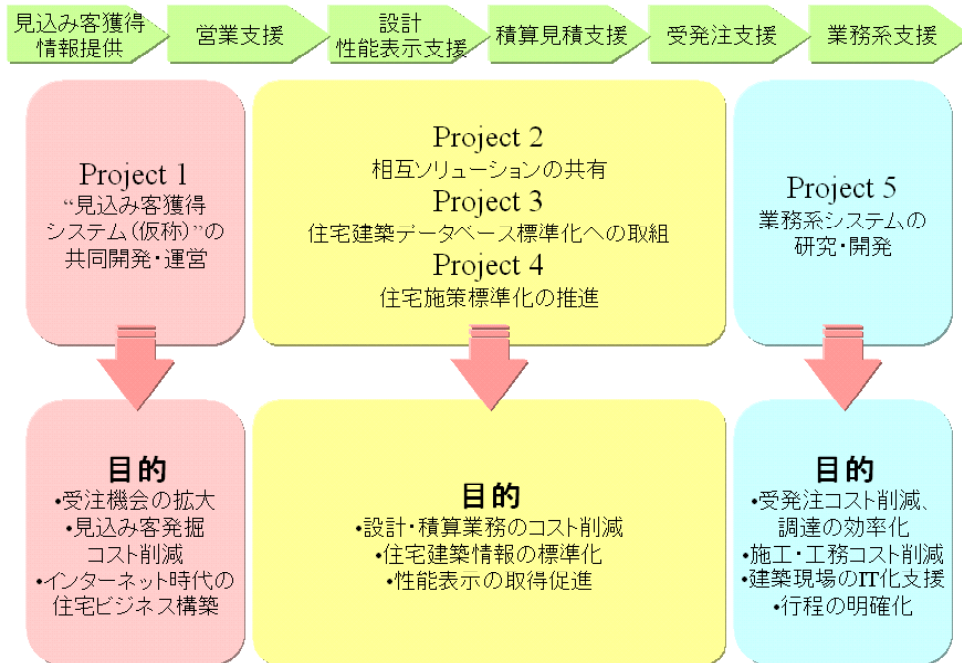


図 1：業務提携 Project とその目的

2 . その他プロジェクトの詳細

➤ 相互ソリューションの共有

住宅業界へのセールスにおいて、3社のコアコンピタンスの相互理解に基づき、ユーザの望むソリューションを相互に活用できる体制の確立を目指します。また体制推進のため3社の商品群およびユーザに対するサポート・教育に関して福井コンピュータが全国展開している営業拠点の機動力、日本ユニシスと日本ユニシス・エクセリューションズのトータルなシステム提供能力を有効活用します。

➤ 住宅建築データベース標準化への取り組み

営業支援、設計支援、積算支援、業務支援までを包括する住宅のデータベース構築を3社協力のもと取り組み、共有できるデータベースの構築、および今後の住宅業界における業界標準化を目指します。また、インターネット3D形式としては、ラティス・テクノロジー社提供のインターネット対応軽量3Dファイルフォーマット「XVL(eXtensible Virtual world description Language)注」ファイルを住宅建築業界で標準化を図ります。

- 住宅施策標準化の推進
建築確認申請図書標準化推進、性能表示制度の義務化、性能評価制度の標準化推進など官民レベルでの標準化推進に3社協調体制で臨みます。
- 業務系システムの研究・開発
住宅業務において必要な業務系ソフトの共同研究・開発・共同販売を予定しています。

注：XVL (eXtensible Virtual world description Language) : 「XVL」(eXtensible Virtual world description Language)は、Webの次世代記述言語XML (eXtensible Markup Language) をベースにした超軽量3D表現として、ラティス・テクノロジーが提唱する言語形式。